

「面倒見が良い大学」14年連続 首都圏1位 「教育力が高い大学」首都圏8位ほか — 全国645進学校アンケートで今年も高い評価を獲得！ —

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、大学通信の調査による大学ランキング*において、多数の項目にランクインしました。本学は、日本初の私立七年制高等学校である旧制武蔵高等学校をルーツとし、創設時からゼミ（ゼミナール）を中心とした「自ら調べ自ら考える」力を養う徹底した少人数教育を行っています。また、近年はリベラルアーツ&サイエンス教育にも力を入れており、伝統のゼミ教育を中核にグローバルリーダーを養成するため、学生の主体的な学びへのサポート体制や環境の整備を進めています。

大学ランキング

【面倒見が良い大学】全国私大2位（首都圏1位）※14年連続首都圏1位

【小規模だが評価できる大学】全国私大1位（首都圏1位）※7年連続首都圏1位

【入学後、生徒を伸ばしてくれる大学】全国私大3位（首都圏4位）

【教育力が高い大学】全国私大5位（首都圏8位）

【就職に力を入れている大学】全国私大20位（首都圏15位）

*『サンデー毎日』2023.9.17号「全国645進学校アンケート『オススメ大学』ランキング」（大学通信調べ）

本学の「ゼミ」の特長－ゼミの武蔵－

◆「全員、主役」の少人数ゼミ◆

すべての学生が能動的に参加できる人数を重視し、ゼミの人数は1ゼミあたり平均13名。自分と他者との双方向のコミュニケーションにより知と知が摩擦し、協働的な学びが生まれます。教員は全方位から学生を徹底的にサポート。武蔵のゼミでは、自学自習では到達できない新たな知見の獲得をめざします。

◆実践に役立つ学び◆

開講するゼミの数は毎年約400種類。学生がそれぞれ身につけた学部の専門性を応用して企業から提供された課題の解決に取り組む「学部横断型課題解決・プロジェクト」、国内外でのフィールドワーク、他大学と合同で行う「インターゼミナール」など、学内外での活動を通じて実践に役立つ学びが得られます。

◆発表の場がある◆

全学部に、ゼミの垣根を越えて研究成果を発表する機会があります。

ゼミの具体的な活動は「ゼミブログ」をご覧ください▶https://www.musashi.ac.jp/seminar_blog/



— 報道関係者問い合わせ先 —

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

